

保存版

周防大島町 地震防災 マップ



お問い合わせ



周防大島町役場

〒742-2192 山口県大島郡周防大島町大字小松126-2
TEL:0820-74-1000(代表) FAX:0820-74-1016

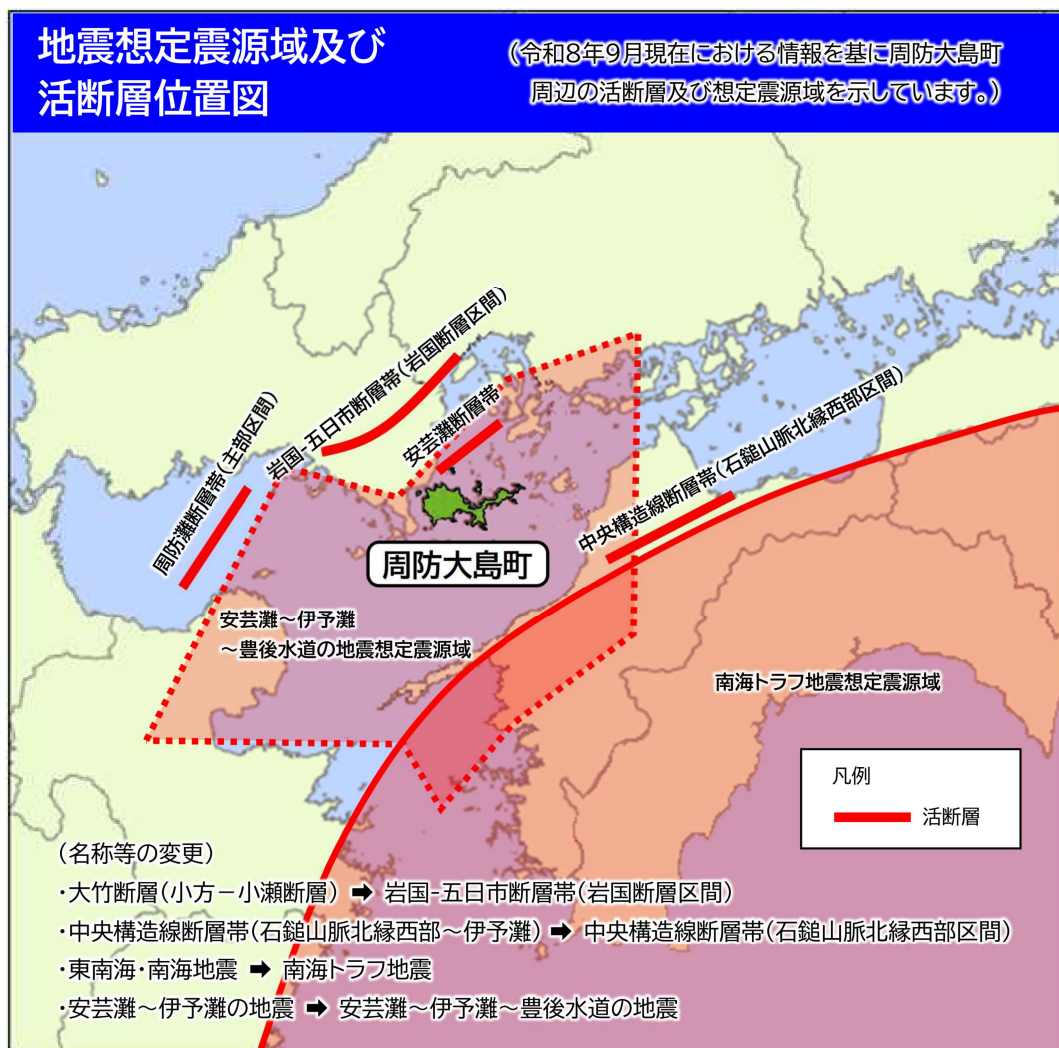
地震防災マップとは

地震防災マップは、周防大島町への影響が大きいと考えられる地震の揺れを想定し、これらの地震の揺れやすさを、避難所の情報などと合わせてマップに示したものです。

このマップを利用して、防災についての知識を深め、地震発生時の避難などに役立てましょう。

想定地震について

周防大島町地震防災マップは、周防大島町への影響が大きいと考えられる地震のうち、発生確率の高い「大竹断層(小方ー小瀬断層)」「中央構造線断層帯(石鎚山脈北縁西部～伊予灘)」「東南海・南海地震」「安芸灘～伊予灘の地震」の地震を想定するとともに、全国どこでも起こりうる直下の地震として、マグニチュード6.9の地震が直下で発生した場合を想定しました。



地震のタイプ	地震名	マグニチュード*
活断層地震	岩国-五日市断層帯(岩国断層区間)	7.6
活断層地震	中央構造線断層帯(石鎚山脈北縁西部区間)	7.5
活断層地震	周防灘断層帯(主部区間)	7.6
活断層地震	安芸灘断層帯	7.2
海溝型地震	南海トラフ地震	8.0～9.0
海溝型地震	安芸灘～伊予灘～豊後水道の地震	6.7～7.4
直下型地震	全国どこでも起こりうる直下の地震	6.9

※マグニチュードとは、地震の大きさ(規模)を表す単位です。

参考：政府 地震調査研究推進本部

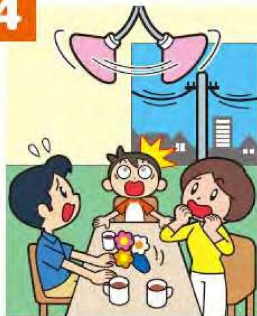
過去の主な被害地震

発生年月日	地震名または震央地名	マグニチュード	最大震度	地震の被害
令和7年12月8日	青森県東方沖	7.5	6強	負:46
令和6年1月1日	能登半島地震	7.6	7	死:720 不明:2 負:1,407
平成28年4月14日	熊本地震	7.3	7	死:273 負:2,809
平成23年3月11日	東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)	9.0	7	死:19,787 不明:2,549 負:6,254
平成20年6月14日	岩手・宮城内陸地震	7.2	6強	死:17 不明:6 負:426
平成19年7月16日	新潟県中越沖地震	6.8	6強	死:15 負:2,346
平成19年3月25日	能登半島地震	6.9	6強	死:1 負:356
平成16年10月23日	新潟県中越地震	6.8	7	死:68 負:4,805
平成15年9月26日	十勝沖地震	8.0	6弱	死:1 不明:1 負:849
平成13年3月24日	芸予地震	6.7	6弱	死:2 負:288

参考：気象庁

地震と揺れ等の状況(概要)

4



〔震度4〕

- ほとんどの人が驚く。
- 電灯などのつり下げ物は大きく揺れる。
- 座りの悪い置物が、倒れることがある。

6弱



〔震度6弱〕

- 立っていることが困難になる。
- 固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。
- 壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。
- 耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。



耐震性が高い



耐震性が低い

5弱



〔震度5弱〕

- 大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。
- 棚にある食器類や本が落ちることがある。
- 固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。

6強



〔震度6強〕

- はわないと動くことができない。飛ばされることもある。
- 固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが増える。
- 耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが増える。
- 大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山体の崩壊が発生することがある。



耐震性が高い



耐震性が低い

5強



〔震度5強〕

- 物につかまらないうと歩くことが難しい。
- 棚にある食器類や本で落ちるものが増える。
- 固定していない家具が倒れることがある。
- 補強されていないブロック塀が崩れることがある。

7



〔震度7〕

- 耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものがさらに増える。
- 耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある。
- 耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが増える。

耐震性が高い

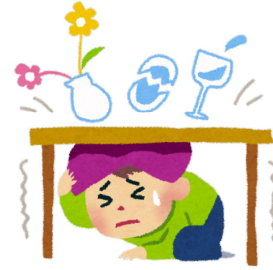
耐震性が低い

地震発生時の行動

地震発生

★大きな揺れを感じたら まず身を守る

- 机の下など、頑丈な家具の下にもぐりこむ
- クッション、雑誌などで落下物から頭を保護する
- 倒れそうな家具、ガラス窓などから離れる



★大揺れがおさまったら 火の始末・出口の確保

- 台所、ストーブなどの火元を確認する
- 避難のための出口を確保する



★家族の安全確保

- ラジオ、テレビなどで災害情報・避難情報を入手する
- 靴を履き、転倒家具や、散乱したガラス片などに注意する
- ブレーカーを切り、ガスの元栓を閉じる

避難時の注意点

- 家を出る前に出火防止対策を
- 外に逃げるときはあわてずに
- 避難は徒歩で、荷物は最小限にする
- 狭い道路、塀ぎわ、がけや川べりに近寄らない



数時間後
～3日程度

- 生活必需品は備蓄でまかなう
- 災害情報・被害情報の収集
- 壊れた家には入らない
- 自主防災組織を中心に行動する
- 避難所では協力しあって集団生活のルールを守る



津波から身を守るために

情報を集めよう

- 地震がおきたら、テレビやラジオなどで正しい情報を

津波の特徴

- 津波のスピードは速い
- 津波はくり返しやってくる
- 満潮の時は要注意



津波注意報・警報が出たら

- 海辺や河川には近づかない
- 高台や頑丈な建物に避難する



耐震診断を受けましょう

周防大島町では、木造住宅の地震に対する安全性の向上を図り、地震に強いまちづくりを推進するため、住宅の耐震診断や耐震改修にかかる費用の一部を補助します。耐震診断を受けて、自分の家が安全かどうかを確認し、必要に応じて耐震補強をしましょう。

● 耐震診断（無料）

- ・ 対象住宅 昭和56年5月31日以前に着工された木造3階建て以下の一戸建て専用住宅で現に居住しているもの

● 耐震改修（補助）

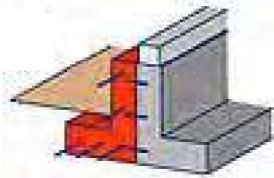
- ・ 対象住宅 耐震診断済みの一戸建て木造住宅で、現に居住しているもの
- ・ 補助金額 改修費用の5分の4(上限1,150,000円)

詳しくは、周防大島町役場総務課消防防災班(電話:0820-74-1000)にお問い合わせください。

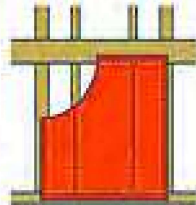
木造住宅の具体的な補強方法

耐震診断の結果などを参考に、建築士などの専門家に相談の上、適切な補強を行って自分の家の安全を確保しましょう。耐震補強の方法には、以下のようなものがあります。

① 打ち増しなど基礎部分の補強



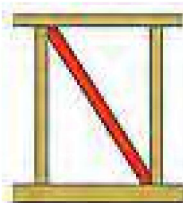
② 構造用合板や筋交いなど壁面の補強



③ 沿柱など建物の外側からの補強



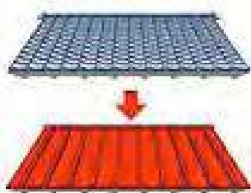
④ 筋交いなどの補強



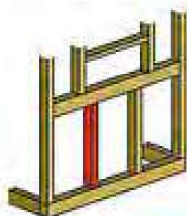
⑤ ベランダなど「はね出し部」の補強



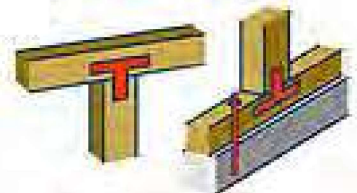
⑥ 屋根の軽量化



⑦ 柱の増設

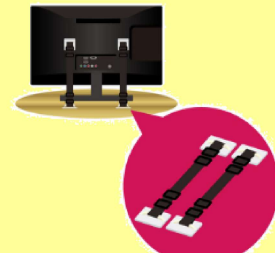
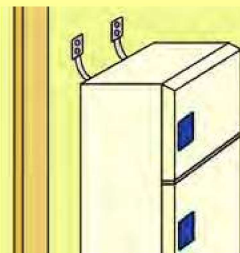
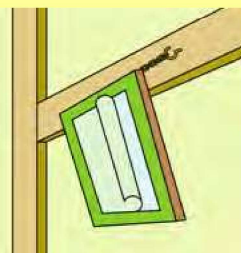
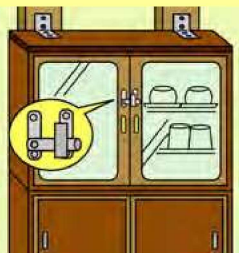


⑧ 柱や梁などの交換, 金具補強



わが家の安全対策 家の中

家具や家電が転倒したり落下しないようにしましょう。また、中の物が飛び出さないようにしましょう。



寝室、子どもやお年寄りのいる部屋にはなるべく家具を置かないようにしましょう。



安全に避難できるように、避難時の通路を確保しておきましょう。



消火器の正しい使い方を理解し、いざという時に使いやすい場所に備えておきましょう。



非常用持ち出し品を玄関や寝室など持ち出しやすいところに置いておきましょう。



運動靴などをいつでも使えるように用意しておきましょう。



わが家の安全対策 家の周り

屋根瓦を補強しておきましょう



ブロック塀を点検補強しておきましょう



プロパンガスのボンベを固定しておきましょう



自主防災組織に参加しましょう

自主防災組織は、みんなで力を合わせて地域の被害を最小限度に抑えることを目的に自治会、町内会単位で組織されています。「自らの命は自らで守る」「自らの地域はみなで守る」という意識を持ち、自主防災組織の活動に進んで参加しましょう。

自主防災組織の活動

- 平常時 ●防災訓練への参加
●防災啓発活動
●地域の安全点検等



- 災害時 ●初期消火活動
●避難誘導
●救出・救護活動
●情報の収集・伝達
●給食・給水活動

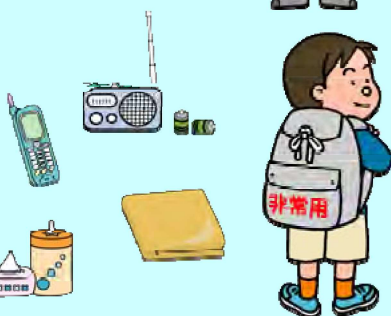


非常用持ち出し品チェックリスト

非常持ち出し品は、夜間時の避難を前提に足下を照らす懐中電灯を始めとして、替えの下着なども必要となります。

非常用の持ち出し品を定期的を確認しましょう。

- ☐ 飲料水
- ☐ 非常食
(カップ麺、缶詰、ビスケット、チョコレートなど)
- ☐ 貴重品
(預金通帳、印鑑、現金、マイナンバーカード、免許証など)
- ☐ 常備薬
- ☐ 懐中電灯
- ☐ 衣類品
(上着、下着、靴下など)
- ☐ 携帯ラジオ、予備電池、携帯電話
- ☐ タオル
- ☐ ウェットティッシュ



<小さな子どものいる家庭>

- ☐ 粉ミルク
- ☐ ほ乳びん
- ☐ 紙おむつ



<高齢者や体の不自由な方がいる家庭>

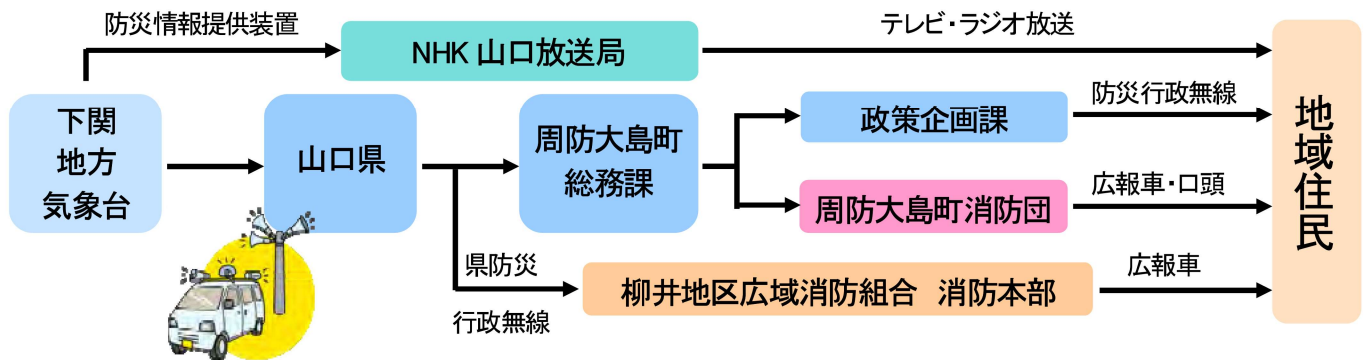
- ☐ 常備薬
- ☐ 看護補助具
- ☐ おむつ
- ☐ 障害者手帳

<ペットのいる家庭>

- ☐ ケージ
- ☐ ペットフード
- ☐ ふん尿の始末用品



情報伝達の経路



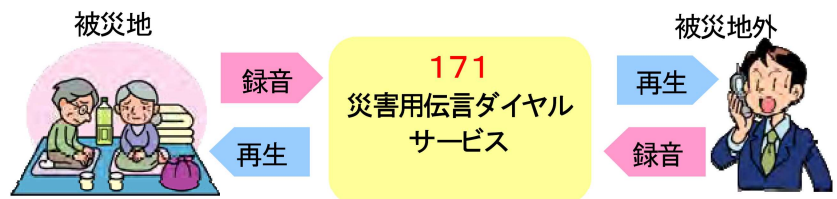
171 災害用伝言ダイヤル

災害時、家族や知人との連絡や安否確認などに利用できるNTTのサービスです。

171をダイヤルし、ガイダンスに従ってメッセージの録音・再生を行ってください。

詳しくは、NTT西日本ホームページ

<http://www.ntt-west.co.jp/dengon/> をご覧ください。



緊急時の連絡先

	連絡先	電話番号
事件・事故	警察	110
	柳井警察署	0820-23-0110
	周防大島幹部交番	0820-72-0110
火災・救急	消防・救急	119
	柳井地区広域消防組合消防本部	0820-22-0040
	西部出張所	0820-72-0119
	中部出張所	0820-77-0119
	東部出張所	0820-75-0119
水道	柳井地域広域水道企業団	0820-25-0255
電気	中国電力ネットワーク株式会社 柳井ネットワークセンター	0120-616-318

■ わが家の避難場所

場所	電話番号

■ 家族の連絡先(会社・学校など)

名前	生年月日	血液型	住所	電話番号